

# 枚方市駅周辺再整備事業の財政シミュレーション

本財政シミュレーションは、全街区の市駅周辺再整備事業を見込んだ令和3年2月作成の「長期財政の見通し」をベースに、「③街区まで」を見込んだ場合、「ステージ1-1」までを見込んだ場合、「ステージ1-3」までを見込んだ場合のそれぞれの段階ごとのシミュレーションを行っています。

また、本事業の推進にあたっては市債や新庁舎及び総合文化施設整備事業基金を活用するため、実質収支には影響を与えない前提としています。

なお、枚方市駅周辺再整備を推進することにより経済波及効果が期待されますが、それに伴う収支に与える影響については、財政面における確実性を期する観点から反映せずに財政シミュレーションを行っています。

## I. ③街区までを見込んだ場合

(単位：億円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
実質収支	15	14	12	13	10	12	10	11	10	10	11	11
市債残高	1,204	1,248	1,284	1,316	1,332	1,330	1,333	1,325	1,310	1,307	1,299	1,286
臨時財政対策債	708	728	745	767	785	803	819	832	843	855	868	880
その他市債	496	520	539	549	547	527	514	493	467	452	431	406
基金残高	271	265	244	229	210	192	177	165	153	143	132	110
うち財政調整基金	107	104	94	84	79	71	66	61	58	53	48	41
うち減債基金	41	41	39	38	34	24	19	17	13	8	8	6
うち新庁舎及び総合文化施設整備事業基金	46	46	46	46	46	45	44	43	42	41	40	39

<参考>新庁舎及び総合文化施設整備事業基金の活用

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
積立（土地売却収入等）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
取崩	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0

## II. ステージ1-1までを見込んだ場合（ステージ1-1：市負担額約28億円）

(単位：億円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
実質収支	15	14	12	13	10	12	10	11	10	10	11	11
市債残高	1,204	1,248	1,290	1,323	1,338	1,336	1,338	1,330	1,315	1,311	1,302	1,289
臨時財政対策債	708	728	745	767	785	803	819	832	843	855	868	880
その他市債	496	520	545	556	553	533	519	498	472	456	434	409
基金残高	271	264	245	230	215	227	218	205	183	172	161	138
うち財政調整基金	107	104	94	84	79	71	66	61	58	53	48	41
うち減債基金	41	41	39	38	34	24	19	17	13	8	8	6
うち新庁舎及び総合文化施設整備事業基金	46	45	47	47	51	80	85	83	72	70	69	67

<参考>新庁舎及び総合文化施設整備事業基金の活用

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
積立（土地売却収入等）	0.0	0.0	9.0	0.0	10.8	32.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
取崩	0.0	0.4	6.7	0.6	6.8	3.6	5.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5

Ⅲ. ステージ1-1～1-3まで見込んだ場合（ステージ1-1～1-3：市負担額約198億円）

（単位：億円）

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
実質収支	15	14	12	13	10	12	10	11	10	10	11	11
市債残高	1,204	1,248	1,290	1,323	1,338	1,336	1,339	1,331	1,315	1,313	1,307	1,300
臨時財政対策債	708	728	745	767	785	803	819	832	843	855	868	880
その他市債	496	520	545	556	553	533	520	499	472	458	439	420
基金残高	271	264	243	228	212	211	191	179	182	166	149	106
うち財政調整基金	107	104	94	84	79	71	66	61	58	53	48	41
うち減債基金	41	41	39	38	34	24	19	17	13	8	8	6
うち新庁舎及び総合文化施設整備事業基金	46	45	45	45	48	64	58	57	71	64	57	35

<参考>新庁舎及び総合文化施設整備事業基金の活用

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
積立（土地売却収入等）	0.0	0.0	9.5	0.0	10.8	32.7	0.0	0.0	34.1	0.0	0.0	0.0
取崩	0.0	0.4	9.3	0.6	7.3	17.2	5.7	1.5	19.7	7.1	7.3	21.5

Ⅳ. 全街区を見込んだ場合（ステージ1-1～1-3・2：市負担額約239億円）

【令和3年2月作成の長期財政の見通し】

（単位：億円）

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
実質収支	15	14	12	13	10	12	10	11	10	10	11	11
市債残高	1,204	1,248	1,290	1,324	1,340	1,338	1,340	1,340	1,326	1,332	1,324	1,317
臨時財政対策債	708	728	745	767	785	803	819	832	843	855	868	880
その他市債	496	520	545	557	555	535	521	508	483	477	456	437
基金残高	271	264	243	228	212	208	189	176	161	143	124	81
うち財政調整基金	107	104	94	84	79	71	66	61	58	53	48	41
うち減債基金	41	41	39	38	34	24	19	17	13	8	8	6
うち新庁舎及び総合文化施設整備事業基金	46	45	45	45	48	62	56	53	50	41	33	10

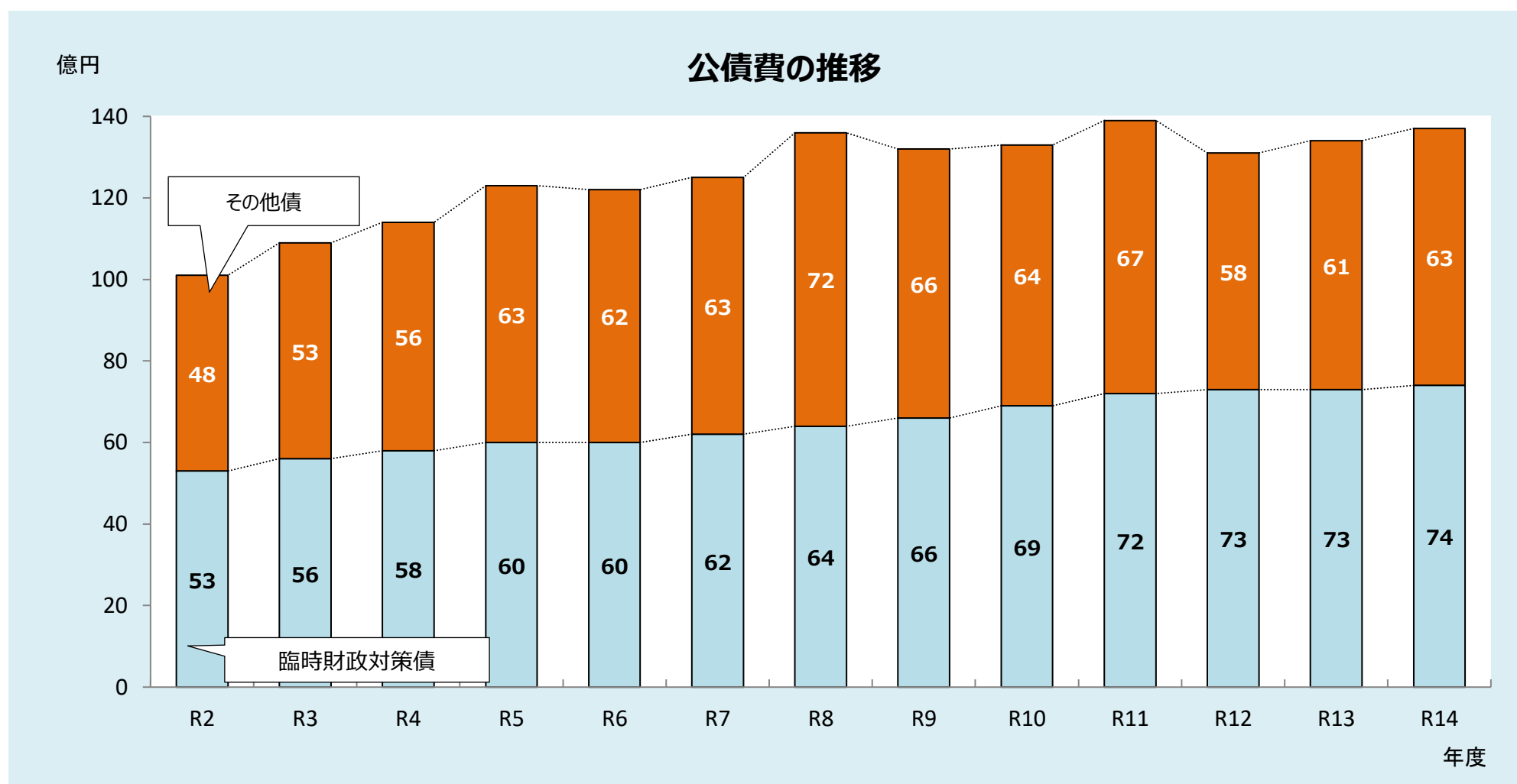
<参考>新庁舎及び総合文化施設整備事業基金の活用

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
積立（土地売却収入等）	0.0	0.0	9.5	0.0	10.8	32.7	0.0	0.0	34.1	0.0	0.0	0.0
取崩	0.0	0.4	9.3	0.8	7.4	19.3	5.8	2.5	37.2	8.9	8.7	22.9

※全街区の整備に向けては、改めて各ステージ毎に収支見通しや財源確保の状況を踏まえながら事業の推進を図ります。

※上記のほか、令和15年度から31年度まで、新庁舎整備に係る割賦償還や事業に係る公債費負担（毎年5～8億円程度）が見込まれます。

[参考:令和3年2月作成の長期財政の見通しから抜粋]



公債費の推移

(単位:百万円)

年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
公債費	10,095	10,885	11,421	12,336	12,164	12,526	13,635	13,239	13,327	13,864	13,130	13,454	13,719
臨時財政対策債	5,263	5,556	5,784	5,999	5,992	6,197	6,358	6,590	6,935	7,177	7,319	7,310	7,378
その他債	4,832	5,329	5,637	6,337	6,172	6,329	7,277	6,649	6,392	6,687	5,811	6,144	6,341

公債費のうち地方交付税で措置される額

(単位:百万円)

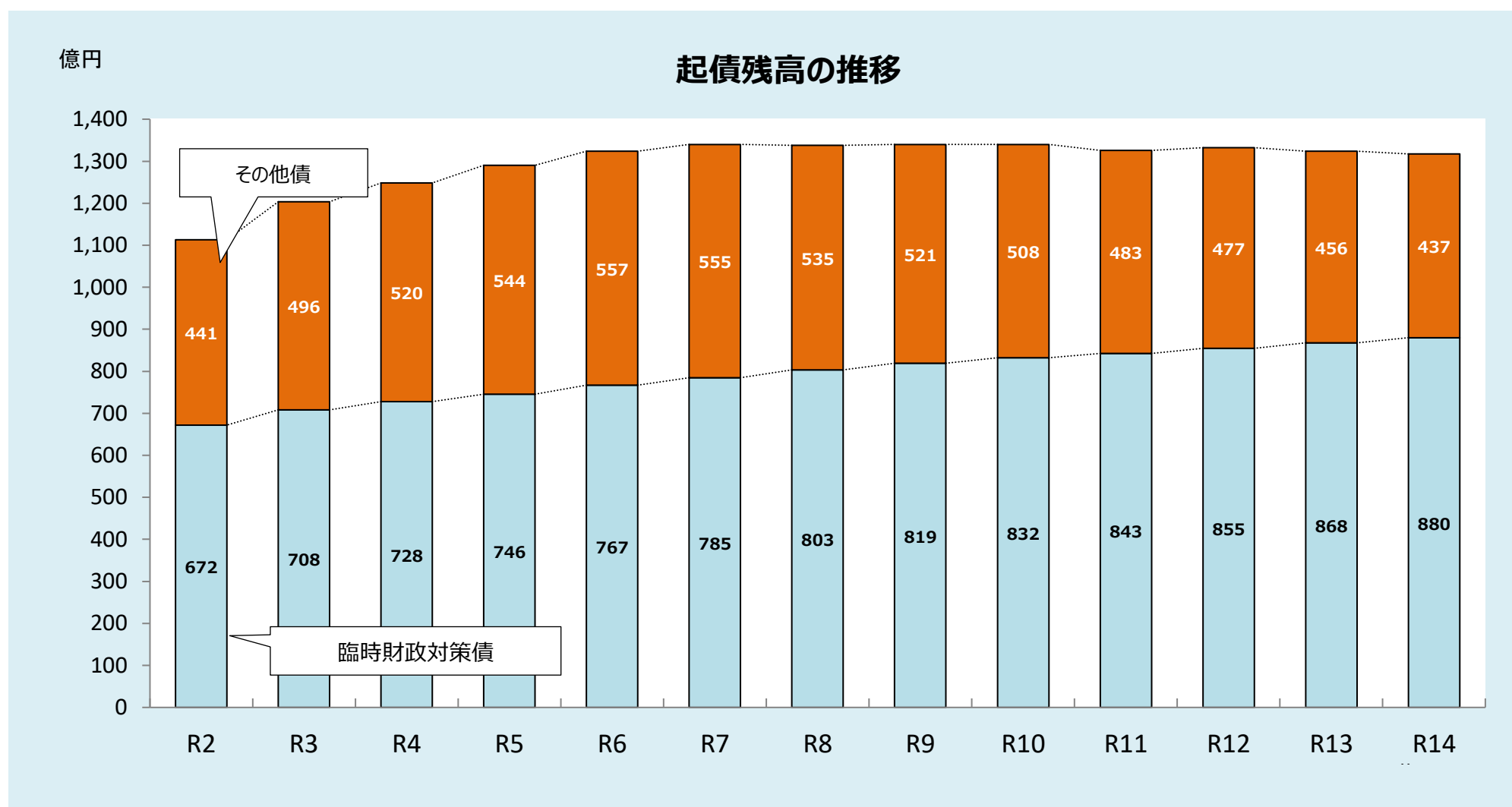
年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
公債費	6,084	6,462	6,742	7,076	7,041	7,273	7,595	7,720	8,022	8,314	8,307	8,354	8,456
臨時財政対策債	5,263	5,556	5,784	5,999	5,992	6,197	6,358	6,590	6,935	7,177	7,319	7,310	7,378
その他債	821	906	958	1,077	1,049	1,076	1,237	1,130	1,087	1,137	988	1,044	1,078

現行の地方財政制度では、臨時財政対策債に係る公債費は全額交付税措置がなされるものとされています。また、その他債の交付税措置額は、平成29年度から令和元年度の3ヶ年の実績をもとに算出しています。

実質的な公債費(地方交付税で措置される額を除いた額)

(単位:百万円)

年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
公債費	4,011	4,423	4,679	5,260	5,123	5,253	6,040	5,519	5,305	5,550	4,823	5,100	5,263
臨時財政対策債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他債	4,011	4,423	4,679	5,260	5,123	5,253	6,040	5,519	5,305	5,550	4,823	5,100	5,263



#### 地方債の推移

(単位：百万円)

年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
地方債残高	111,270	120,435	124,794	128,984	132,415	133,966	133,766	133,989	133,970	132,640	133,192	132,430	131,669
臨時財政対策債	67,169	70,809	72,789	74,618	76,659	78,523	80,252	81,903	83,233	84,341	85,525	86,769	87,998
その他債	44,101	49,626	52,005	54,366	55,756	55,443	53,514	52,086	50,737	48,299	47,667	45,661	43,671

現行の地方財政制度では、臨時財政対策債に係る公債費は全額交付税措置がなされるものとされています。また、その他債の交付税措置額は、平成29年度から令和元年度の3ヶ年の実績をもとに算出しています。

#### 地方債残高のうち地方交付税で措置される額

(単位：百万円)

年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
地方債残高	74,666	79,245	81,630	83,860	86,138	87,948	89,349	90,758	91,858	92,552	93,628	94,531	95,422
臨時財政対策債	67,169	70,809	72,789	74,618	76,659	78,523	80,252	81,903	83,233	84,341	85,525	86,769	87,998
その他債	7,497	8,436	8,841	9,242	9,479	9,425	9,097	8,855	8,625	8,211	8,103	7,762	7,424

#### 実質的な地方債残高の推移（地方交付税で措置される額を除いた額）

(単位：百万円)

年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
地方債残高	36,604	41,190	43,164	45,124	46,277	46,018	44,417	43,231	42,112	40,088	39,564	37,899	36,247
臨時財政対策債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他債	36,604	41,190	43,164	45,124	46,277	46,018	44,417	43,231	42,112	40,088	39,564	37,899	36,247

[参考:令和3年2月作成の長期財政の見通しから抜粋]

## 行財政改革の取り組み

(1) 今回の収支見通しに反映している効果額

(単位:千円)

取り組み内容	令和2年度		令和3年度		合計	
	目標額	見込額	目標額	見込額	目標額	見込額
枚方市勤労市民会への支援のあり方見直し	4,584	4,584	4,000	4,000	8,584	8,584
総人件費削減	▲ 55,696	▲ 13,808	259,703	-	204,007	▲ 13,808
税外債権に係る未収金対策等の取り組み	10,000	-	45,000	-	55,000	-
市有財産の有効活用 ※ (ネーミングライツ・未利用財産の売却や貸付)	54,137	57,835	143,390	139,440	197,527	197,275
くずはアートギャラリー事業の見直し	-	-	18,676	19,249	18,676	19,249
住宅改造補助事業の執行方法の見直し	-	-	4,249	4,249	4,249	4,249
精神保健推進事業補助金の見直し	-	-	4,973	4,973	4,973	4,973
下水道事業会計の基準外繰入金等の削減	23,875	23,875	75,158	75,158	99,033	99,033
病院事業会計の繰入金金の抑制	50,000	-	-	-	50,000	-
公立幼稚園の効率的・効果的な配置	-	2,164	19,026	1,258	19,026	3,422
図書館施設の効率的・効果的な運営	-	-	1,291	1,249	1,291	1,249
留守家庭児童会室への情報端末導入	-	-	▲ 5,524	-	▲ 5,524	-
広報ひらかた作成業務の見直し	-	-	10,983	-	10,983	-
ごみ収集業務体制の見直し	▲ 14,451	18,740	▲ 125,860	-	▲ 140,311	18,740
入札制度の見直し ※	-	32,377	-	-	-	32,377
経常経費の配分見直し	248,125	211,050	-	300,467	248,125	511,517
火葬場使用料の見直し	50,596	32,219	-	-	50,596	32,219
繰出金の見直し	117,839	116,006	-	-	117,839	116,006
文化国際財団基本財産の受け入れ ※	-	-	300,000	300,000	300,000	300,000
結婚等新生活支援事業補助金の見直し	15,000	15,000	-	-	15,000	15,000
三世代家族・定住促進事業の廃止	15,000	15,000	-	-	15,000	15,000
道路占用料の見直し	-	-	-	47,000	-	47,000
精神障害者社会復帰及び居宅生活支援事業	-	-	-	4,486	-	4,486
合計	519,009	515,042	755,065	901,529	1,274,074	1,416,571

※未利用財産の売却、入札制度の見直し、文化国際財団基本財産の受け入れについては、取り組み年度のみにおける効果額となります。

(2) 現在検討中のもの(今回の収支見通しには反映していません)

取り組み内容	効果額(粗概算)
FM ひらかた放送委託料の見直し	0.5 億円
事業系ごみ手数料の見直し	0.3~1.7 億円
公立保育所民営化・ごみ収集体制の直接経費の削減	0.8 億円
総人件費の削減(職員数の適正化など)	4.0 億円
経常経費(枠配分予算)の検証	2.0 億円

※上記のほか、施設の一元管理、学校プールの民間施設の活用、さらなる未利用財産の売却・有効活用など、今後、効果額が生じる取り組みを検討しています。